

世界へ松濤中生 (Achieve a role in the global community)

自立 (Grow) 尊重 (Respect) 創造 (Create)

学校だより

■HP, Address

<http://academic1.plala.or.jp/shoto/>

■発行
渋谷区立松濤中学校
渋谷区松濤1-20-4
■代表電話
TEL 03-3469-2451, 2452
■発行責任者
校長 斉藤 茂好

NO. 5

9/7

平成28年度

今月の内容

【1面】

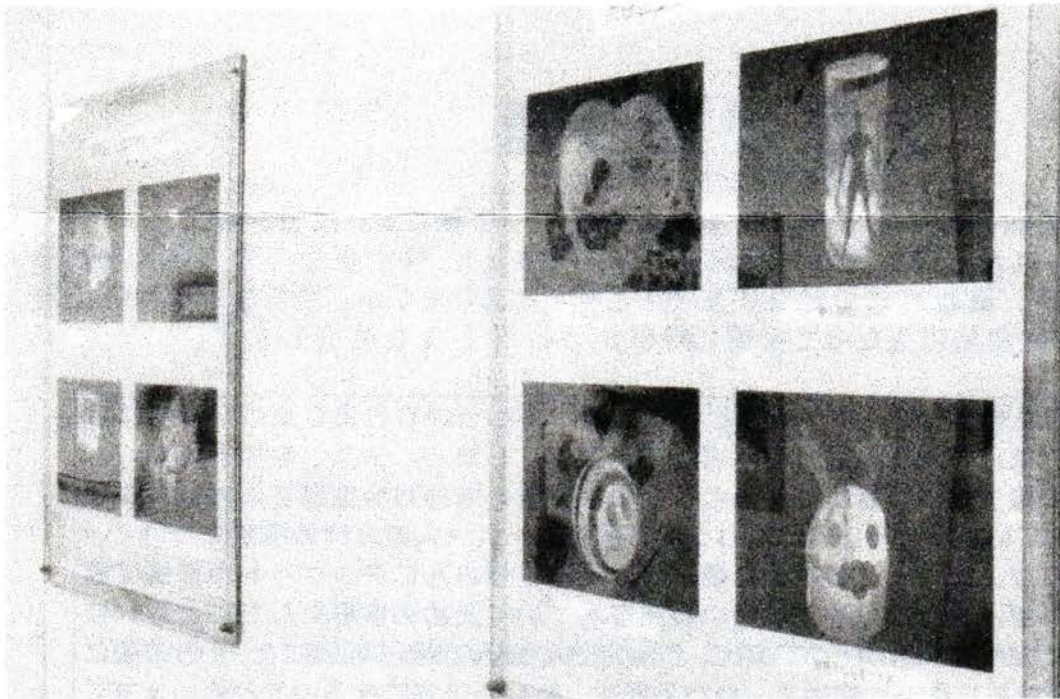
■PHOTO SKETCH
ご存じですか?

■校長メッセージ
自己検定

【2面】

■生徒授業評価

■結果速報



渋谷駅構内の副都心線に向かう通路には、数年前から松濤中学校の生徒による美術作品が展示されています。毎朝毎晩、行き交う通勤 通学客の目を楽しませています。

自己検定

朝晩、電車で通勤しています。車中の風景は、乗客が少なからず黙々とスマホの画面に没頭する姿が定番になっています。ある調査によると若者の携帯メールにルール(?)があるそうです。

1. メールを自分から終わらせない(返事を求める文章を送信する)。
2. 5分以内に返信する(返信しないとどうでもいいという印象を与えるから)。
3. 送信されたものと同じ程度の絵文字を使う(使わないと、キレていると思われる)。

気配り過敏というか、常につながっていないと仲間に見捨てられるという恐怖に駆られているようです。相手に嫌われたらどうしようという不安、嫌われる理由を極力無くそうとしているかのようです。無視する側に「あなたが先に無視したから」という言質を与えてしまうことを恐れます。メールの世界では、一人に嫌われたら、それは即座に仲間全体の評価にすり替わります。個人間の付き合いではなく、自分一人と自分以外のすべての関係になっています。すべての人に合わせていくことは大変なストレスになりますし、四六時中メール交換し続けなければ間に合いません。

0か1か、白か黒か、イエスかノーか、人間関係をデジタル評価している思考が危険です。仲良くするか、嫌いになるか、そんな関係だけでは生きてはいけません。人間は機械ではないという最も簡単な例は、アナログ思考をすることです。0と1の間に無数の数があると考えることによって、生きる苦勞や楽しみが生まれてきます。確かに周りに、好きな人もいれば苦手な人もいます。それだけではなく、いろんなニュアンスの人、例えば、好きでもなければ嫌いでもないという、普通の付き合いの出来る人がたくさんいるはず。そんな普通の人の中で暮らしているのです。"チョー"とか"激"という冠詞を付けるようにな

った頃から、価値の物差しの原点がずれてしまいました。望ましい位置が行きすぎたせいで、普通である位置が悪い位置に滑り込んでいます。セレブという言葉が耳にするようになって、格差という言葉が意識されるようになりました。贅沢さを見ているうちに、普通の暮らしが貧しく見えてきたのです。人としてのほどを知らないと、社会は病んでいきます。豊かな暮らしから長生きが生じましたが、一方でメタボリックが生み出されました。

原点の修正をしないまま、自らの価値観の検定を忘れたら、栄枯盛衰の繰り返しになります。何処かおかしいという直感の背後には、見たり聞いたり感じたりして何かを判断評価する際の物差しにゆがみがあるということです。ケータイ電話に限らず便利で即時性の高いものは子どもや大人を振り回し、自分の自分らしさを分からなくさせてしまうのかも知れません。

たまに自己検定を試してみるのも必要ですね。

生徒授業評価

授業評価アンケート口上文

学力向上のための授業改善の手立てとして、前期終了時に「生徒による授業評価アンケート」を実施します。先に実施された全国学力学習状況調査(3年生4月)、児童生徒の学力向上を図るための調査(2年7月)では、概ね高位の結果が出たところではありますが、さらなる学力の定着と向上を目指します。下は実施に先だって生徒に呼びかける口上文を紹介します。

私(先生)たちは生徒の皆さんに、中学校のときに勉強してしっかりと身に付けなければならない教科の内容を、毎日の授業を通して指導しています。しかし、テストを採点したり、授業のときの皆さんの様子を振り返ってみると、もっと授業の進め方や指導する内容について工夫が必要だと考えています。そこで、教わっている先生一人一人の日頃の授業について、どのように感じているか、また、どのような要望があるかを皆さんにアンケートの形式で書いてもらい、先生たちがよりわかりやすく良い授業をしていくための参考にしたいと思います。また、授業は、先生たちが一方的に教えるのではなく、生徒の皆さんも進んで勉強する時間です。その時間に何かを得ようとする気持ちになって初めて、わかる授業、楽しい授業になるのだと思います。このアンケートでは、自分自身の授業に臨む態度についても書いてもらい、皆さんの授業態度がどうなのかを振り返る機会にしてほしいと思います。このアンケートによって、成績が上がるとか、下がるといったことはありません。皆さんのアンケート結果を参考にして、先生たちがどのように授業の見直しをしていくかということについては、「授業充実プラン」として、生徒の皆さんや保護者の皆さんにお知らせします。

結果速報

全国学力学習状況調査 (3年生対象4月実施教科；【国語】【数学】)

【国語】A問題(主として知識)

東京都、全国と比してほぼ同程度。各層に大きな格差はなく、必要事項が概ね履修されている。

【国語】B問題(主として活用)

東京都、全国をやや下回る。課題解決力、思考力等を意図的に設定した指導方法の工夫が必要。

【数学】A問題(主として知識)

東京都、全国と比して大きく上回る。独自作成の教材等を使用し、数学的基礎学力を確実に身につけている。

【数学】B問題(主として活用)

A問題同様東京都、全国を大きく上回る。教科の工夫した指導の成果が端的に表れている。

より一層の学力向上に努めます!!!